



秋の一碧湖／下村俊宏・画

Ito West R.C. Weekly

R.I. 第2620地区 静岡第1グループ



伊東西

会長 増田真啓 副会長 葛城武典
幹事 土屋順史

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定 該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	46	40	36	4		90.00%

THE MAGIC OF ROTARY

2024～2025年度 R.I. 会長 ステファニーA.アーチック
第2620地区ガバナー 小泉久司

2025.3.28 第2154回例会 No.2154

会長挨拶

先週末は、朝早くから会長エレクトラーニングセミナー運営のお手伝い有難うございました。これからは地区行事関係のお仕事が多々あると思います。皆さんどうぞよろしく願いいたします。さて、皆さんご存知の通り、北岡貴人さんが先週お亡くなりになりました。いつも独自の視点で語ってくださるお話を、もうお聞きすることが出来ないと思うととても残念です。今日は、北岡さんの思い出話をひとつさせて下さい。もうだいぶ前のことですが、何ヶ月間か北岡さんとテーブルが同じだったことがあります。私がロータリーバッジをいつもつけていないのが、気になっていたのだと思います。普通なら「おい増田、バッジつけろ」で済むところですが、北岡さんは一味違いました。ある日「増田君、これはチャーターメンバーのロータリーバッジだ。増田君にあげるから、今すぐつけなさい」と言って、箱に入ったロータリーバッジを手渡そうとされました。「これはまずいことになった。御大は怒っていらっしゃるのか?」「ホントに受け取っちゃっていいのだろうか。」などなど思いが巡ったんですが、北岡さんの顔を見ながら受け取ってしまいました。ものすごく恐縮し



ながら仕方なさそうに、同時に精一杯嬉しそうな作り笑いをしてバッジをつけた記憶があります。いつもバッジをつけていない増田にどうやってバッジをつけさせようか考えて下さっていたのだなあとありがたく思いましたが、こんな貴重なものを頂くわけにもいかないので、例会が終わってすぐに奥様のところにお返しに行ったのを思い出します。今となって思えば、チャーターメンバーでもないのに、図々しくチャーターメンバーのロータリーバッジをつけたことがあるのは、私一人ぐらいじゃないでしょうか?北岡さん、お心遣いありがとうございました。北岡さんが亡くなられたことはとても残念ですが、伊東西ロータリークラブに入って北岡貴人という方にお会いできたこと、会話を交わさせて頂いたことは自分の人生の大きな喜びとなっています。ご冥福をお祈り致します。

本日の欠席者

石井幸弘君 勝又隆男君 村上恵宏君
佐藤活也君

幹事報告

- 大船渡大規模山林火災被害支援金BOXを後方に設置してございますので、御協力よろしくお願いたします。
- ORLI (ロータリーリーダーシップ研修会) パート3の案内です。開催日が5月11日でZOOM開催です。応募締め切りが4月17日で、定員が35名です。
- 伊東RCゴルフコンペですが、こちらの登録は伊東RCの秋山さん、もしくは伊東の事務局に

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

直接連絡をしてください。

スマイルボックス

増田真啓君・工藤雅司君・肥田雅雄君

北岡さんのご冥福をお祈りいたします。

牧野 隆広君 立木さん卓話楽しみにしています。時間めいっぱい使ってください。

鈴木恵里君・山須田万亀子（事務局）

PELS終了後、沢山のお花をいただきました。おかげ様で家中お花畑になりました。ありがとうございました。

久保田英二君・小川嘉洋君・勝又隆男君・野村玲三君・川島康宏君

3月22日のPELSにご協力ありがとうございました。無事に終わることができました。

小川 久君 先週のペルス、お疲れ様でした。カルガリーがカナダに有ること。一つお利口になりました。受けねらいを考えるのもひと苦勞です。

稲葉 雅之君 PELSの日、早朝よりお疲れ様でした。伊東西の仲の良さと話の長さを、今後も地区に見せつけましょう。

卓話

花見について

担当 立木 泰君



日本の花見の由来は奈良時代、西暦710年頃から貴族の間で花見会が行われました。それは桜ではなく中国から伝来した梅の花でした。

平安時代（794年）になると、桜は春の花として源氏物語で花見の宴が行われ、古今和歌集に桜を題材にした歌が詠まれています。貴族だけでは

なく五穀豊穰を願い農民も花見をするようになりました。

安土桃山時代では、豊臣秀吉の行った『醍醐の花見』や『吉野の花見』が有名です。

江戸時代になると、花見は庶民の楽しみとして広く浸透しました。豊島区にあった『染井村』の植木職人により、オオシマザクラとエドヒガンを交配させたソメイヨシノが生まれ、日本全国に普及され、桜の名所が数多くつくられました。

じつは開花に至るまでにはさまざまなプロセスを経ていきます。夏になると翌春に向けて花芽を形成し、冬に入る前に厳しい寒さから身を守るために休眠状態に入ります。この休眠状態を解除（打破）するためには一定期間低温にさらされる必要があります。寒さにさらされることで花芽は休眠から目覚めこれを『休眠打破』といいます。休眠打破が行われるのに必要な寒さの量を『低温要求量』といいます。これは桜の品種によって異なり、ソメイヨシノは8度以下の寒さに800～1,000時間さらされる必要があります。河津桜は8度以下の寒さに27～59時間の低温要求量で開花するといわれています。昨年の秋から冬にかけて暖かい日が多く、必要な量の低温にさらされなかったため、開花が10日以上遅れたといわれています。



染井吉野



御衣黄

（担当 下村俊宏）

プログラム予定

4月18日（金） 早朝例会（移動） 会員バス旅行

4月25日（金） 夜間例会 卓話 飯田法弘君 例会前の17：00～理事会